

科目名	現代都市論	単位数	2	授業形態	講義	担当 教員	小玉 徹(創) 他
英語表記	Contemporary Urban Studies						

● 科目の主題

現代都市における身近な課題について、多様な視点とアプローチ手法の下で、自ら考える姿勢と能力を習得する。

● 授業の到達目標

現代都市を取り巻く経済、法、政策などについて、総合的に理解することを到達目標とする。

● 授業内容・授業計画

扱うテーマは、住宅政策、都市計画法、都市財政、社会政策、統計分析、政策評価などである。

第1回 オリエンテーション

ー現代都市とわたしたち

第2回 現代都市と都市計画法

第3回 都市計画法の歴史

第4回 都市計画法の未来

第5回 都市と人口減少

第6回 都市の社会政策

第7回 行政管理／行政経営、

ガバメント／ガバナンス

第8回 都市政府と財政

第9回 都市政府の公共サービス

第10回 都市政府の資金調達

第11回 住宅政策

第12回 住宅政策

第13回 住宅政策

第14回 住宅政策

第15回 期末試験

(担当)

第1～4回 久末弥生(創造都市研究科)

第5～7回 五石敬路(創造都市研究科)

第8～10回 水上啓吾(創造都市研究科)

第11～14回 小玉徹(創造都市研究科)

● 事前・事後学習の内容

教材の指定箇所を読み、授業に出席するのが望ましい。指定箇所と事後学習の内容は、授業時に連絡する(第1回の事前学習は不要)。

● 評価方法

期末試験 80%、授業中の積極度 20%。

● 受講生へのコメント

社会科学を総合的に学んでみたいという、全学部の学生の受講を歓迎する。

● 教材

教科書(第1～4回):久末弥生『都市計画法の探検』法律文化社、2016年。